

「地上型3Dレーザー機器を活用した森林調査の現地検討会」アンケート結果

Q1.使用した感想、その他お気づきの点があれば御記入ください。

<肯定的な意見>

- ・新しい技術に接することができて有意義な検討会だった。
- ・操作は簡単。
- ・操作が簡単でわかりやすかった。本体は一人で組み立てられるくらい軽かった。多少の雨であれば測定できた。
- ・組立、セッティングから実際の測量まで事前知識等があれば専門性がなくても操作できるのが魅力と感じた。
- ・デモで計測した地点でさえ5分程度の時間で調査が完了したのには大変驚いた。短時間で計測が終わるのは魅力的だった。
- ・セッティング、測定自体は簡単で早く誰でもできるためよい。
- ・県や国と違い、農林の専門職がない市町村では新しい技術でカバーしていくを検討しなければならないと感じた。
- ・地形情報のデータはほかの分野でも活用できそうだった。

<その他意見>

- ・画面が見にくい。
- ・機材が重たく、森林内で持ち運ぶのが大変だと感じた。
- ・10m間隔だと調査に時間がかかりそうだった。
- ・測定がもう少し短くなればいいのかなと思う。
- ・計測時、斜面での45秒は長く感じた。☒

Q2.当機器は今後の森林調査で活用できると思いますか？

<肯定的な意見>

- ・省力・精度向上につながるものであれば活用したい。
- ・個人差がない、作業人員の低減が図れる。
- ・作業の手間は減る。
- ・非常に扱いやすく、手軽に測定でき、素早く作業が終わるので非常に効率的であるので調査での活用は期待できる。

<その他意見>

- ・費用（機器購入費等）が問題。
- ・機材が高価であり、簡単に導入はできない。
- ・コスト面でのハードルが高く感じた。
- ・計測範囲が狭い。
- ・測定できるエリアが狭い。
- ・樹種の判別に手間がかかる。
- ・森林組合等は使用できると思うが、市町村等だとそもそも測量も委託しているケースがほとんどであるので人員や職員の事務量・予算等のキャパシティに余力があれば検討できるかもしれない。
- ・調査のためにある程度とはいえ刈払が必要な場合があるなど現実的な対応が難しい場合もあるのではないかと。また、刈払が必要な場合、従来と比較し、簡略化となっているか疑問がある。
- ・整備対象が国有林のように経営管理されていないため、どの程度活用できるかが不透明な状況で高価な機器を導入するのは困難である。

Q3.当機器の改善点や要望について御意見がありましたら御記入ください。

- ・使用を通じ、改善されていけば良いツールとなるのではないかとと思う。
- ・計測中、終了時にアラームを鳴らす。
- ・USBメモリをSDカード等に変更して紛失しないようにする。
- ・持ち運びを考え、軽量化を希望する。
- ・雑灌木がある中でも使用できるとよい。また、止まらないで歩きながら計測できるのであれば、なおよい。
- ・本末転倒かもしれないが、コスト面を安く抑えるため、機能を多少制限する必要もあるように感じた。例えばバッテリーに関してはそこまで長持ちしなくてもよいように思う。
- ・樹高のずれは航空レーザー計測の樹頂点データの組み合わせで運用改善できないか。

Q4.今後、福島森林管理署に現地検討会で取り上げてほしい内容がありましたら御記入ください。

- ・今後も最新のICT情報を提供していただきたい。
- ・今回のような最新の技術について取り上げていただきたい。
- ・QGISを活用した森林管理などを希望。

・ドローンやGPS測量を用いた森林境界の明確化。